
在宅看護実習

前 馬 理 恵 教授
谷 野 多見子 講師
矢 出 装 子 助教

3 年次後期～4 年次前期

2 単位・90 時間

【概要・目標】

地域で療養生活を送る個人および家族の生活と、様々な健康課題に応じた看護活動の実際から、在宅ケアにおける看護職の役割を学ぶ。

- 1) 地域で療養生活を送る個人および家族の生活と健康状況との関連を理解できる。
- 2) 地域で療養生活を送る個人および家族の看護上の問題を把握し、生活の質の向上を目指した看護活動を考えることができる。
- 3) 在宅ケアに関わる関係職種・関係機関との連携を理解し、在宅ケアにおける看護職の役割を考えることができる。
- 4) 地域と医療施設の連携の実際を学び、住民の保健・医療・福祉に対するニーズおよび地域連携における看護職の役割を考える。

【実習方法】

- 1) 実習場所：訪問看護ステーションおよび病院地域連携室
- 2) 実習期間：2 週間
- 3) 実習方法：訪問看護ステーションおよび地域連携室の指導者と共に行動する。

【実習評価】

実習目標に対する到達状況（60%）、実習への参加状況（20%）、実習記録（20%）により評価する。

【その他】

- ・ 詳細については実習前オリエンテーションで説明する。